



やすき通信

訪問看護ステーション穩

2021年 Vol.11



新たな取り組み ～呼吸機能の維持、肺合併症予防に向けて～



筋萎縮性側索硬化症（ALS）を呈されているAさん。ALSの特徴である筋力低下や筋萎縮、球麻痺症状（言語障害、嚥下障害）、呼吸障害が徐々に進行しており筋力低下、喋りにくい、息が続かないなどの症状がみられています。

筋萎縮性側索硬化症などの神経筋疾患では進行性の呼吸筋麻痺により肺や胸郭の柔軟性が低下することで肺活量が低下し呼吸苦やQOLの低下につながります。

今回、Aさんは非能動型呼吸訓練装置（LIC トレーナー）を自宅での自主トレーニングとして取り入れるため外来リハビリを開始されました。

LIC トレーナーとは蘇生バックを使用して肺を加圧し、陽圧に保つことで肺及び胸郭の柔軟性を維持・改善させる神経筋疾患向けの呼吸療法機器です。

現在、胸郭可動域訓練や腹式呼吸、ブローイングなどで呼吸訓練を実施していますが、外側からの胸郭アプローチでは肺は広がらないため、最大吸気量を得られない方でも直接的に肺に空気を入れて肺や胸郭を広げることができるLIC トレーナーは徒手での呼吸療法以上に訓練効果が得られ、呼吸機能低下が予防できるのではないかと期待しています。



理学療法士：高宮 舞

引用“LIC TRAINER 医療機器開発・製造受託サービスのカーターテック.<https://carter-tech.jp/>, (参照 2021-11-20)”

食べていない高齢者の口の中



経口摂取をしていない方の口腔内ってどうなっている？

食べていないから汚れないし、キレイなんじゃないだろうか？

経口摂取をしていない高齢者は口腔を使わないため
唾液分泌・自浄作用・咀嚼機能・嚥下運動などが低下している↓
= 汚れが付きやすい状態！



適切なケアをしないと、、、口腔内乾燥・皮膜様の汚れ・乾燥した痰・舌苔などで悲惨な状態になります。

経口摂取をしていない方こそ丁寧なケアと機能的口腔ケアを行いましょう！
そして、口腔・嚥下機能を評価しながら**経口摂取再開のチャンス**を見極めるのです！

看護師・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士：藤中雪子

わたしの休日



休みの日は近くの公園でウォーキングをしています。2周で2km☺☺☺
好きな音楽を聴き、景色を見ながら。
充実した癒しの時間です。



看護師：T

管理者こだまの一言

インフルエンザの季節となりましたね。例年11月頃から増え始め1~3月にピークを迎えます。
予防接種の効果が現れるのは接種後2週間経ってからです。流行する前に予防接種を受けましょう！

管理者：児玉恵美子

医療法人優誠会 訪問看護ステーション穏(やすき)
〒811-1324 福岡市警弥郷1丁目14-8-205号
TEL：092-589-3011 FAX：092-589-3021